

# 進路ニュース

2021年度 4月号 No. 271



茨城県立土浦湖北高等学校

進路指導部

## 入学・進級おめでとうございます

新入生を迎え、新年度が始まりました。皆さんもそれぞれに希望と抱負を胸に抱き、目標を定めて今日を迎えていることと思います。昨年度は、新型コロナウイルスの登場によってあらゆる常識や慣例が通用しなくなった一年でした。このコロナ禍で私たちの生活とそれを取り巻く産業や社会は大きく変化しましたが、今年度も感染防止に配慮しながら「コロナ込み」での学校生活を送っていく必要があります。この1年、学習や部活動、生徒会活動に励み、一人ひとりが充実した毎日を送って自己を高め、進路希望の実現に向けて大きく前進することを期待しています。

さて、昨年度の入試は大学入試改革初年度となり、「大学入学共通テスト」が実施されました。今後も大学入試は大きく様変わりし、受験生を評価する要素も変化していくことが予想されます。このような変化の激しい時期に高校生活を送り、進学先や就職先を適切に選択していくには、高校生の進路を取り巻く環境の変化に留意し進路に対する意識を一層高め、低学年のうちから将来を見据えて行動を起こす必要があります。希望する進路が学年進行とともに変わっていくことも少なくありません。日頃から欠席や遅刻を無くし、学力と体力を高め、職業や大学と学部・学科の研究をしておくことは誰にとっても大切です。

### 《 4月の進路関係行事 》

8日(木)	スタディーサポート(1年)	15日(木)	公務員講座①
8日(木)~9日(金)	課題考査(2・3年)	19日(月)	平常課外開始
12日(月)~16日(金)	面談週間(担任との二者面談)	23日(金)	進路ガイダンス(3年)

### 【充実した1年とするために】 ~ 一日も早く真剣な取り組みを ~

本校卒業生の進路は、国公立大学から公務員、民間企業への就職まで様々です。公務員試験の出願は6月から、民間企業の求人票公開は7月から始まり、試験は9月から始まります。大学等の総合型選抜は9月から、学校推薦型選抜は11月から始まります。大学入学共通テストの出願は9月末に行い、試験は翌年の1月に行われます。進路について考え、必要な準備をするのに“早すぎる”ということはありません。進路は、自分の意思と責任で選ぶものです。高校3年間の過ごし方次第で将来が大きく変わることを肝に銘じ、目標を持って1日1日を大切に過ごしてください。

## 【自己の適性を理解し、主体的に進路を選択できる能力と態度を身につけるために】

1年生：自己の能力や適性を理解し、将来の方向性を定めて高校生活の目標を明確にする。

授業の受け方や家庭学習の仕方、部活動との両立など高校の学習の仕方を身につける。

2年生：目標とする進路、職業や生き方について研究・理解し、適切な将来設計を行う。

(職業研究、大学・学部学科の研究、オープンキャンパスや看護体験、インターンシップへの参加)

苦手科目の克服と基礎・基本の定着を図る。

3年生：適切な進路目標の決定と実力の向上で第1志望合格を図る。

基礎力の完成と受験準備。過去問演習による得点力の向上を目指す。

☆適切な進路希望を持ちその実現を図るためには、早い時期に望ましい学習習慣と盤石な基礎学力を身に付けなければなりません。3年生になると、多くの人が「2年生までの学習内容がいかに大切か」ということを実感します。皆さんの中に部活動を「勉強できない理由」にしている人がいたら、もう一度よく考えてみてください。好きな部活動をしているのですから、部活動を悪者にはしてはいけません。「とにかく授業に集中する」とか「隙間時間を有効に使う」ことで、いくらでも効率よく勉強することはできます。学力は「力」であり、力を付けるには十分な質と量を確保し、努力を継続しなければなりません。「勉強は部活を引退してから」と考えているならば、スタートが遅れて進学・就職先やその受験方法の幅が狭まることを覚悟しなければなりません。

- ・自らの意志による選択と責任
- ・予定を持った行動（手帳によるスケジュール管理）
- ・主体的な学習（授業の徹底理解、家庭学習の習慣化、課外や学習合宿への積極的な参加）
- ・部活動や生徒会活動、ボランティア活動等への積極的な取り組み
- ・保護者との話し合いと共通理解、進学資金の捻出
- ・生活リズムを崩さない（起床、食事、就寝の3点固定）
- ・新聞を毎日1時間以上読み込む（読解力と思考力を深め、時事問題の知識を身に付ける）